

【研究テーマ】

□ **地域の歴史・文化資源としての古文書の保全活動**

キーワード：歴史・文化資源、古文書、民間所在史料

プロジェクトの概要

- ・ 私たちの日本史学研究室では、地域に根ざした活動として、古文書の保全活動に取り組んでいます。具体的には、一般の庶民によって書かれた古い紙の史料などを整理しています。
- ・ これから少子化が進む社会では、地域の過去を物語る民間所在史料の保全が大きな課題となっています。とりわけ、過疎化や限界集落化が進む地方の集落では、旧家などで伝来してきた古文書について将来の散逸が危ぶまれるものも少なくありません。
- ・ そのような危機的な問題から、私たちの日本史学研究室では地域に残る古文書の保全に努めています。特に、1988年からは静岡市と連携し、静岡市古文書調査事業を進めています。そうした協働的な活動を継続するなかで、市内の旧家や公民館に伝来してきた多数の史料群について整理・調査がなされ、少しずつですが、豊かな地域の過去が明らかになってきています。



クリーニング・修復・撮影などを含む古文書の保全活動

社会連携へ向けたアピールポイント

- ・ 地域に残された古文書は、社会の歴史や文化を語る上でかけがえないものです。一度失われた紙の古文書は、二度と甦ることはありません。
- ・ グローバルな視野からみますと、日本列島では膨大な史料が民間のなかで残されてきました。日本社会における古文書の残り方には、世界的にみても希少な豊かさがあります。その多くは、江戸時代から明治・大正・昭和の間に一般の庶民が作成したものです。
- ・ 歴史の消失を防ぐため、先人たちの過去を雄弁に語る古文書を保全し、次世代へと伝えていくことは、私たちが持続可能な社会を築いていくために大切なことです。



秋のキャンパスフェスタでは、古文書の歴史的価値について市民の方々に理解を深めていただくため、「古文書展」というイベントを継続しています。

プロジェクトリーダー

松本 和明

大学院人文社会科学領域
人間・社会系列
准教授

プロジェクトメンバー

- ・ 松本 和明
- ・ 貴田 潔

相談に応じられる関連分野

- ・ 旧家や公民館など民間に残る古文書の保全

貴田 潔

大学院人文社会科学領域
人間・社会系列
准教授

